

本通信は、最上総合支庁が発行する月間号「最上総合支庁だより」です。最上総合支庁1階ロビーに常備しています。  
山形県庁ホームページ（最上総合支庁 [http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami\\_bo](http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo)）からもご覧いただけます。

## 今年も盛況！ “ゆめりあ” 産直フェア



なめこのぴったり計りどり

第10回もがみ“ゆめりあ”産直フェアが3月7日、8日に開催され、両日で延べ約9千人のお客様が来場しました。

すっかりおなじみとなったこのイベントに、今年は最上管内全域から過去最多の39団体が出店し、自慢の農産物・農産加工品を販売しました。

お客様とのやり取りの中から食に対する関心がますます高まっていることが感じられ、出店者一同、安全安心な食料供給への思いを新たにしました。

商工観光振興室 0233-29-1311

## 最上传承野菜で料理講習会を実施しました！

最上传承野菜を一般の方に広く知っていただくため、3月12日、新庄市民プラザを会場に、最上传承野菜を使った料理講習会を開催しました。

ニューグランドホテルの丹野総料理長を講師に、今が旬の戸沢村産「ひろっこ」、同じく戸沢村の「エゴマ」を使ったフレンチを学びました。

特に「白身魚のソテーひろっこ敷きコチマヨ」は大好評で、コチュジャンとマヨネーズのソースが「ひろっこ」とベストマッチでした。



「エゴマのタルト」  
エゴマの食感がいい感じ

「サラダ」  
エゴマオイルを使ったドレッシング  
がベストマッチ！

「ひろっこのパスタ」  
ひろっこが甘い！



「ポテトのスープ」  
ひろっこ入り！

「白身魚のソテー」  
ひろっこ敷きコチマヨ

講習会后に「ひろっこ」と「エゴマ」の生産者によるミニ講演会もあり、見て・聞いて・食べて最上传承野菜を学びました。

参加者からは「最上传承野菜は予想以上に美味しい。他の最上传承野菜も使ってみよう」などの声がありました。

農村計画課 0233-29-1341

## 市民公開講座「住民とともに歩む地域医療を目指して」が開催されました

3月18日、最上地域保健医療対策協議会の主催により、地域医療崩壊の危機を再認識し地域住民と病院が良好な関係を維持する方法について考える、市民公開講座「住民とともに歩む地域医療を目指して」が開催されました。



新庄市民プラザ

公開講座では、新庄市夜間休日診療所の利用状況及び県立河北病院の平日夜間の救急診療支援の取組みについて報告がありました。

続いて、医師不足から存続の危機にあった病院の小児科を守るために地域住民が立ち上がって活動している「兵庫県立柏原病院の小児科を守る会」代表の丹生裕子（たんじょうゆうこ）氏から、医師に感謝する気持ちの大切さや住民が医療に関心を持つことが必要であるとする内容の講演がありました。

また、引き続き、関係者によるシンポジウムを行い、「コンビニ受診」等をテーマに意見交換が行われ、「日中は仕事で行けないからと安易に病院の救急診療を受けることは良くない」、「急病の時は不安が先立ち、医師からの『大丈夫』という一言を求めている」、「家庭内でも医療に関する知識を高めることが必要」などの意見がありました。

保健企画課 0233-29-1256

## 第3回 もがみ「食」産業セミナーが開催されました！

最上総合支庁では、地域資源である「こだわり農産物」を、商社、インターネット販売事業者等に紹介し、新たな「食」産業を創出することを目的として、もがみ「食」産業セミナーを開催してきました。

3月17日に今年度3回目となるセミナーを開催し、ホテルメトロポリタン丸の内（東京都）Dining & bar「TENQOO」の岩崎均料理長が「産地に期待すること」をテーマに講演を行いました。

その後、出席した生産者及び食品加工事業者等と、ホテルで食材の料理方法、最上地域の農産物の取引の可能性等について意見交換を行いました。



セミナー後の意見交換（右：岩崎料理長）



最上赤にんにく視察



マッシュルーム視察

セミナー翌日には、岩崎料理長が、最上地域の生産地に足を運び、「ひろっこ」「里芋・雪中人参」「マガモ」「マッシュルーム」「最上赤にんにく」「雪うるい」の各生産者と直接意見交換を行いました。

産業経済企画課 0233-29-1306

## 「肘折湯治文化研究所」設立記念シンポジウム・ 「やまがた観光まちづくり塾 in 最上2008」が開催されました

2月28日、「肘折湯治文化研究所」の設立記念シンポジウムが「やまがた観光まちづくり塾 in 最上2008」と併せて開催されました。

基調講演は、「文化としての湯治とその活用」をテーマに赤坂憲雄氏(当研究所初代所長)が、また「観光への教育の必要性のあり方」をテーマに国土交通省観光庁観光資源課長の水嶋智氏が講演を行いました。

パネルディスカッションでは、塾長である川口直木氏がコーディネーターとなり、「人はなぜ旅にでるのか」などを話題にパネラーの方々と意見を交換しました。

「肘折湯治文化研究所」は、肘折地区、大蔵村、東北芸術工科大学とで構成する組織で、地域の魅力を再発見するとともに、新しい湯治スタイルの確立を目指そうと設立するものです。

「まちづくり塾」は、各地域で活動する人たちの交流により、観光まちづくりに活躍する人材の育成を目的としています。

商工観光振興室 0233-29-1311



### ☆ 話題 ☆

東北芸術工科大学OBが監督する、長編ドキュメンタリー映画「湯の里ひじおりー学校のある最後の一年」が製作されています。

肘折温泉とそこに生きる人々の日常をとらえ、語り継ぎたい日本の文化を見つめ直す映画です。

5月に最上地方での上映のあと、県内各地、全国にて順次上映される予定です。

## 平成20年度もがみの地域づくり活動報告会&交流会が開催されました



3月13日、最上広域交流センター“ゆめりあ”において、最上総合支庁の地域づくり支援制度を活用した10事業の報告会が開催されました。各団体の代表が、活動していて苦労した点、工夫した点、取り組みの成果などを発表しました。

また、「地域資源を活かす実践者のネットワークづくり」と題して、NPO法人東野山・里・暮らしネットワークマネージャー・東北まちづくり塾代表の菊池新一氏がワーキングホリデーや農家民泊の受け入れ側の工夫や心構え、グリーンツーリズムの旅行者が移住した例などを講演しました。

その後、地域づくりの実践者達が参加者した交流会が市内で行われ、各団体の交流が一層はかられました。

### ■平成20年度に支援をした団体/主な活動内容・目的

- |                     |                                   |
|---------------------|-----------------------------------|
| ①Feel               | ／結婚のためのコミュニケーション講座とカップリングパーティーの開催 |
| ②新庄ベンチャークラブ         | ／子どもを対象に「積み木ワークショップ」などのイベントの開催    |
| ③鮭川歌舞伎保存会           | ／伝統文化の保存・継承、各世代を超えた繋がりによる地域づくりなど  |
| ④戸沢村観光物産協会          | ／仙台圏の独身女性と戸沢村の独身男性の交流会の実施など       |
| ⑤NPO法人新庄観光ガイド協議会    | ／観光客向けに新庄城址「新庄城址案内絵図」の作成・配布       |
| ⑥木の根坂地区自治会          | ／地域資源の発見を兼ねた写真教室、地域の貴重な動植物の講演会など  |
| ⑦ツール・ド・カムロ実行委員会     | ／金山町でのオフロードバイク大会を開催し、参加者との交流拡大    |
| ⑧日本再発見塾 in 最上 実行委員会 | ／第4回「日本再発見塾」の開催を支援                |
| ⑨蔵岡ふるさと塾            | ／子どもと大人と一緒に制作する巨大紙風船のイベント         |
| ⑩NPO法人里の自然文化共育研究所   | ／地域資源を活かした、より広域的・公益的な農山漁村の活性化     |

地域支援課 0233-29-1238



# お知らせ



## 最上地域「緑の募金」 街頭キャンペーンを実施します

最上総合支庁では、新庄市並びに緑の少年団、新庄市内各高等学校ボランティアグループと連携して「緑の募金」による身近な緑化活動を広く県民の皆さまにPRするため、下記により街頭キャンペーンを行います。

皆さまの募金は最上地域の緑化活動や緑の少年団活動に活用されます。

- 日時 4月26日(日) 13時～14時30分
- 場所 ・新庄市ゆめりあ正面入口  
・ヨークベニマル新庄店



昨年の街頭募金活動の様子

森林整備課 0233-29-1348

## 「もがみ桜めぐり」 パンフレットができました

全国各地から桜の開花の便りが届く頃となりました。最上地域にも桜の名所がたくさんあり、このほどパンフレットを作成しました。

群生して豪華に咲き誇る桜から、山あいひっそりとたたずむ一本桜まで、趣の異なる様々な桜をぜひお楽しみください。

桜をはじめとした季節の花の見どころや、この時期のイベント情報を掲載したパンフレットは、新庄駅隣接ゆめりあ内情報案内センター、最上総合支庁、管内各市町村などで配布しています。



金山町田屋の一本桜

商工観光振興室 0233-29-1311

## 春の交通安全県民運動

4月6日(月)～4月15日(水)

### 運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

### 運動の重点

- ① 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ② 自転車の安全利用の推進
- ③ 飲酒運転の根絶
- ④ 交差点・道路横断時の交通事故防止

## 春の交通安全県民運動最上地区出発式

n日時：4月6日(月) 15:00～16:00

n場所：最上広域交流センターゆめりあ  
「花と緑の交流広場」

nアトラクション：

- ・フラダンス(カフラオハワイ松田教室)

地域支援課 0233-29-1244

## 管内の主な行事

### ◎新庄かど焼きまつり

4月29日(水)  
～5月5日(火)

【最上公園内 特設会場】



### ◎真室川梅まつり

4月29日(水)  
～5月5日(火)

【真室川公園】



最上エコポリスのシンボル  
キャラクター(もがみる君)

発行日：平成21年4月1日  
発行元：山形県最上総合支庁  
総務課 総務係  
電話 0233(29)1360  
FAX 0233(23)2605